



新たな宇城市消防団の幹部団員



辞令を受ける幹部団員



— 宇城市消防団辞令交付式 —
地域の安心・安全を守ります

4/4 市消防団の辞令交付式が松橋東防災拠点センターで行われ、新団長に不知火町の吉田公美さん(58)が就任。新幹部41人に辞令が交付され、新体制での活動が始まりました。

式典で守田市長は「コロナ禍の中、まずは団員自身とご家族の健康と安全に留意し、それぞれの地域でご尽力いただきたい。」とあいさつ。

吉田団長は新幹部に向けて「消防団とは、地域の安心と安全のために昼夜を問わず、火災や自然災害に迅速に対処し、被害を最小限に抑える組織です。皆さんには、その中核を担う一員としての誇りを持ち、地域に貢献するという思いを活動に注ぎながら、消防団の目的を共に果たして欲しい。」と力強く訓示しました。



布絵本ボランティア「ことぶき」のメンバーと平岡教育長

— 県立図書館優良読書グループ表彰受賞 —
三角町布絵本ボランティア「ことぶき」

3/24 三角町の布絵本ボランティア「ことぶき」(濱崎壽子代表)の皆さんが市役所を訪れ、平岡和徳教育長に県立図書館から優良読書グループ表彰の受賞を報告。平岡教育長は「長い間活動を続けていただき、感謝します。」と謝辞。濱崎代表は「手作業が好きなたちが集まってやっています。これからも続けていきたい。」と抱負を語りました。



北園区長(中央)と再春館製薬所社員

— 大見区が耕作放棄地を産地化 —
不知火菊で地域に元気を

3/23 不知火町大見区の有志12人が地区の耕作放棄地に不知火菊3,000株を植え付けました。不知火菊が持つ成分はシワやシミを抑える効果が期待できることから、同区は老化防止などのエキスの研究開発を再春館製薬所と共同で進めています。北園直二区長(62)は、「大規模生産にチャレンジしていきたい。」と意気込んでいました。

市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



ま ち の わ だ い
TOPICS



表彰状を持つ団員の奥村葵衣さん(左)、小田愛華さん(右)

— 水・土壌環境保全活動功労者表彰受賞 —
地域の水・土壌環境を守ります

3/12 豊野町みどりの少年団が市役所を訪れ、水・土壌環境保全活動功労者表彰の受賞を報告。10年以上にわたる浜戸川の水環境の把握などの活動が評価されました。守田憲史市長は「これまでの報告で、年々川の水質がきれいになっていることが分かりました。これからも地域の方々と協力しながら、頑張ってください。」と激励しました。



イ草の手触りを確認する児童たち

— 小川草心会が河江小で出前授業 —
子どもたちにイ草文化を伝えたい

3/12 小川町のイ草農家で作る「小川草心会」(中村栄宏会長)が河江小でイ草の出前講座を開催。日本伝統のイ草や畳製品の良さを知ってもらおうと毎年開いています。畳表を使った写真立て作りもあり、児童たちは手触りや香りを感じながら作業を行っていました。中村会長は「興味を持ってきてうれしい。」とほほ笑んでいました。



寄付金を守田市長に手渡す堀組組合長(中央)

— JA熊本うきが市に寄付金を贈呈 —
JAの総力を挙げて地域に貢献

3/18 JA熊本うきの堀幹男代表理事組合長らが市役所を訪れ、守田市長に寄付金を贈呈しました。これは、地域貢献のために宇城彩館の売上金の一部を毎年寄付しているもの。堀組組合長は「宇城彩館を起点に、宇城地域の農産物の魅力を県内外へと発信し、JAの総力を挙げて地域に貢献したい。」と決意を述べました。



賞状を持つ吉田さん(中央)

— 吉田景一さん緑十字銀賞受賞 —
地域の安全安心を支える

3/13 小川町の吉田景一さん(74)が市役所を訪れ、交通栄誉賞緑十字銀賞の受賞を報告しました。吉田さんは地域住民の安全のため、30年以上にわたり交通指導員として貢献。吉田さんは「無理をせず、自分のできる範囲内で活動を続けたことを評価いただけたのではないかと。」と笑顔で話しました。